

す。現実の大気微粒子に対する応用は、今後の課題です。非球形粒子による光散乱の研究は、ここ数年多くの分野で活発に行われるようになりましたが、今のところ実験・観測及びモデル計算を蓄積しつつある段階です。複雑多様な散乱現象を解明してゆくには、多方面から一歩一歩攻めてゆくしかないようです。故 山本先生より課せられた宿題をいつ果せるか分かりませんが、今後とも励んでゆく所存です。

この研究は、東北大学において始められ、一時中断後、NASA/GISS で再開され、現在気象研究所にて続けられている。この間、御指導・御支援下された多くの方々々に厚く感謝いたします。

文 献

- 浅野正二, 1979: 大気微粒子と光—大気光学への誘い, 日本気象学会東北支部特別講演会 (昭和54年11月26日), 東北技術だより, 2, 2, 20-33.
- Asano, S. and G. Yamamoto, 1975: Light scattering by a spheroidal particle, *Appl. Opt.*, 14, 29-49.
- Asano, S., 1979: Light scattering properties of spheroidal particles, *Appl. Opt.*, 18, 712-723.
- Asano, S. and M. Sato, 1980: Light scattering by randomly oriented spheroidal particles, *Appl. Opt.*, 19, 962-974.

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
昭和56年日本気象学会秋季大会	昭和56年12月1日～3日	日本気象学会	愛知県中小企業センター
月例会「レーダ気象」	昭和56年12月9日		気象庁東京管区気象台会議室
第4回極域気水圏シンポジウム	昭和57年1月20日～21日		国立極地研究所講堂
第2回水資源に関するシンポジウム	昭和57年8月3日～5日	空気調和・衛生工学会ほか	科学技術館 (東京)
International conference on the physics, chemistry, and meteorology of precipitation scavenging, dry deposition, and resuspension	1982年11月29日～12月3日	American Meteorological Society et al.	Los Angeles
日本気象学会創立100周年記念式典	昭和57年5月25日	日本気象学会	日本教育会館
昭和57年日本気象学会春季大会	昭和57年5月26日～28日	日本気象学会	日本教育会館